

「海底地盤調査」2026年度前期

■ 実施概要

主 担 当：高野 大樹 准教授（熊本大学大学院先端科学研究部土木環境分野）

概 要：海底地盤調査に関する各種手法の基礎的な知識・技術について講義する。さらに、実際の事業での海底地盤調査の実施方法、データの活用方法について講義を行う。

受講条件：土質力学・地盤工学に関する基礎的事項を理解していることが望ましい。

到達目標：海底地盤調査の基礎知識を理解するとともに、実際のデータの解釈方法について理解する。

講義形式：オンライン授業と対面授業を同時に行う。実際の授業時間後に、録画した動画を視聴し受講することも可能。

受 講 料：95,000円/名

講義予定日：前期（6月16日～8月6日 毎週火・木曜日 10:30～12:00）

■ 2026年度前期実施計画:全15回(1回90分)

	日程	ご担当	授業のテーマ	内容
1	6/16	熊本大学大学院 高野大樹 准教授	ガイダンス	本講義の進め方, 方針等を概説する
2	6/18	熊本大学大学院 高野大樹 准教授	地盤調査の基礎(1)	地盤調査方法の位置づけ, 種類と特徴, 利用方法について概説する
3	6/23	熊本大学大学院 高野大樹 准教授	地盤調査の基礎(2)	地盤調査方法の位置づけ, 種類と特徴, 利用方法について概説する
4	6/25	熊本大学大学院 高野大樹 准教授	海底地盤調査の基礎	洋上風力発電事業における地盤調査の重要性, 日本の海底地盤の特徴について概説する
5	6/30	熊本大学大学院 高野大樹 准教授	ボーリング調査と原位置試験 (1)	海上ボーリングの特徴と方法, 標準貫入試験, コーン貫入試験について解説する
6	7/2	熊本大学大学院 高野大樹 准教授	ボーリング調査と原位置試験 (2)	海上ボーリングの特徴と方法, 標準貫入試験, コーン貫入試験, 各種サウンディング, 調査船の種類と特徴について解説する
7	7/7	熊本大学大学院 高野大樹 准教授	地盤特性の評価	地層構造の推定, 土質定数の設定, 地盤モデルの構築, 不確実性の評価について解説する
8	7/9	熊本大学大学院 高野大樹 准教授	支持力・安定計算	支持力計算, 沈下解析, 液状化評価, 洗掘評価について解説する
9	7/14	基礎地盤コンサルタンツ 田中 淳 氏	陸上・海上ボーリングの実際	実際の陸上・海上ボーリングについての事例を通じて適用範囲とその限界について解説する
10	7/16	基礎地盤コンサルタンツ 八野 祐二 氏	海底地盤における物理探査技術 (1)	音波探査を主とした物理探査技術の概要および各探査手法について解説する
11	7/21	大和探査技術 金指 勝 氏	海底地盤における物理探査技術 (2)	音波探査を主とした測定・解析方法を含む物理探査事例について解説する
12	7/23	Ramboll Japan 田口 智朗 氏	洋上風力発電事業における海底地盤調査プロセスと活用方法ならびに欧州の事例	洋上風力発電事業におけるプロジェクト・ライフ・サイクルにおける海底地盤調査の位置付けとその海底地盤調査キャンペーンのプロセス、更には、そこで得られた海底地盤調査データの設計・施工などへの活用方法, 海底地盤リスクについて概説すると共に、欧州で行われている海底地盤調査の事例について紹介する。
13	7/28	Ramboll Japan 田口 智朗 氏	洋上風力発電事業における海底地盤調査プロセスと活用方法ならびに欧州の事例他	また、今後のキャリア構築の参考までに、エンジニアのキャリア・パスと人材タイプについて紹介する。
14	7/30	(独)エネルギー・金属鉱物資源機構(JOGMEC) 鈴木 浩一 氏 原田 脩平 氏	セントラル方式における地盤調査	広域調査の特徴と方法, データの共有・活用方法, 調査コストの最適化
15	8/6	熊本大学大学院 高野大樹 准教授	海底地盤調査に関する将来の課題等	海底地盤調査に関して、将来の課題やその解決方法などを概説する。